

## 受講者の感想

生産に対する計画の重要性が理解できた。アタマでは理解しているつもりだったが普段は大量生産とは違う内容の業務に就いているので、作業編成計画や標準作業書などを作成することによりムリムダが発見しやすくなり且つ生産効率が上がる実感を得ることができて勉強になった。

本演習は遊びの要素があるように思えるが、作業手順の作成・生産計画（標準時間、必要人員設定、作業レイアウト等）・生産実施・目標と結果の差異分析と、Plan、Do、Check、Actionを体感しながらものづくりの基本を再認識した。

また、講習の中で出てくる手法を自職場に当てはめるとどうなるかを考えながら受講したのだが、現在の問題の改善に役立ちそうなものも多々あった。

今回、他の会社の方々と協力しながら楽しく演習が行え、有意義な講習であった。

一次生産において当初、納期&製作数のノルマ達成を出来るものだと思って取り組みましたが、未達成でした。未達成を改善する為に、二次生産に向けて作った実績表を作成し、各工程内作業能率、ボトルネックの発見をし、改善、編成効率の向上の仕方が分かりました。この考え方はこれからの業務に活かせそうだなと思いました。

話し合いを通じて、自分では考え付かないような事や、考え方の違いが会社毎にあるのを感じ、非常に参考になりました。今後もこのような研修があれば参加したいと思います。

今回セミナーに参加して今後の仕事に活かせそうな事が沢山見つけました。

標準時間、人工数、所要人数の算出などからきちんと根拠に基づいた計画を立てる事が一定の品質を保ち、かつ、納期を守るということにつながってくると感じました。

## 企業経営者の声

- 受講後、社員の改善提案が多くなった。
- 他社の人たちとの協同作業が刺激になったようだ。
- 極めて成果のある OFF-JT であった。